

輸出事業計画

※申請者名：福岡八女農業協同組合、品目：茶（「八女茶」）

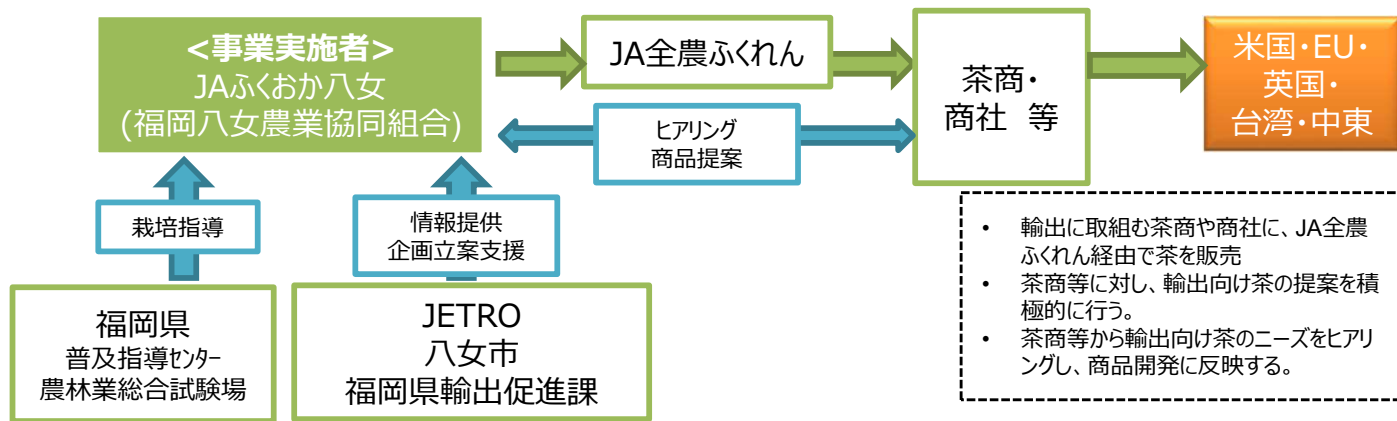
1. 輸出における現状と課題

- 当JAは、県内第1位の茶園面積と茶生産量を誇り、八女茶の生葉・荒茶生産から仕上げ加工、販売まで行っている。
- 当JA管内で生産するお茶は「福岡の八女茶」あるいは「八女茶 やめちゃ」と呼称されている。
- 当JAは、これまで福岡県やJETROの事業を活用して、日本や輸出先国のバイヤーとの商談や、バイヤーからの問合せに対する提案等、主に香港やドイツ向けの輸出に取り組んできたが、現時点では、輸出先国バイヤーや輸出商社等との継続的かつ直接取引の輸出は実現出来ていない。
- 国内の茶の消費量減少が続く中、日本食ブームの影響、健康志向の高まりなどにより日本茶に対する需要が高まっている海外への販路開拓のために、「輸出向けの茶葉・荒茶生産→仕上げ加工→販売」の強化が必要。
- 輸出向けの茶が国内向けや他国向けの茶と交わらないよう、コンタミ対策が必要。

2. 輸出事業計画の取組内容

- 既に当JAの取引先の茶商等が輸出に取り組んでいる国・地域で、特に日本産緑茶の輸出額・輸出量が多い米国、EU・英国、台湾をターゲット国・地域として、煎茶、抹茶、八女伝統本玉露の輸出に取り組む。
- 日本産緑茶の輸出先地域の一つとして関心が高まっている中東(UAE)への輸出に向けた取組も始める。
- 当JA管内で輸出向け茶の栽培に取り組む生産者に対し、各国・地域の残留農薬基準に対応した農業指導や栽培管理の指導を行う。
- 県と連携し、中東(UAE)の残留農薬基準に対応した防除体系を構築し、栽培を始める。
- 既に国外に販路を構築している当JA管内の茶生産者及び茶商と連携し、産地としての八女茶の輸出販路をより強固なものにするため、茶商の販売ルートの強化支援を行うなどして、生産から販売までの一貫した取り組みを実施する。
- 洗浄可能な加工機を導入することでコンタミの発生を防止する。

3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制



4. 輸出目標額

	現状（令和2年度）	目標年（令和10年度）
輸出額・出荷額※	1,210万円	3億円
輸出先国・地域	米国・EU・台湾	米国・EU・英国・台湾・中東

※当該地域・国向けの輸出用茶として、茶商等に出荷した金額を含む。